

事務事業評価シート

計画対象年度	平成28年度								
事務事業名	都市計画調整事業（政策）						事業類型	一般事務	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	都市計画法
			08	04	01	04	政策経費		
総合計画体系	3. 安全で快適に暮らせるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(1) 適正な土地利用の推進						市民協働	行政主体	
	1 土地利用						担当課係等	都市整備課	
⑦都市計画の推進						都市計画担当・開発担当			
事業期間	継続（年度～）								

現状把握の部（D0）

【目的】 ・特色あるまちづくりを推進するため、都市計画の審議・調査を行い、必要に応じ見直しを行っていく。 ・開発行為事務に係る各種研修会に参加し、職員のスキルアップ及び近隣の事務処理市との意見交換を行う。 ・平成28年度より太陽光発電施設の適正な設置に伴う事務処理が開始されるため、その人員不足を補う。	【関連事業】 なし	
【期待される効果】 ・研修会に参加し職員のスキルアップを図ることによって、より高度な市民サービスに繋がる。 ・権限移譲に伴い市の現状を把握し都市計画を見直すことによって、特徴ある街づくりが出来る。	【対象者】 全市民	
【全体概要】 本事業は都市計画に係る調査事務、課員のスキルアップ、更に開発許可及び太陽光発電施設の適正な配置に伴う事務処理等の人員不足を補うための経費である。	【特記事項】 開発行為に関する許可判断の実績が少ないことから、詳細な判断のためのガイドライン策定を図る。	
【平成27年度 事業内容】	【平成28年度 事業内容】	【平成29年度 事業内容】
区域指定に伴う業務委託 都市計画に関する事務	区域指定に伴う業務委託及び集落説明 会並びに千代田地区の指定、霞ヶ浦地区 の見直し 大規模盛土造成地の変動予測調査 都市計画に関する事務 太陽光発電施設の適正な設置に関する事 務	大規模盛土造成地の変動予測調査 神立停車場線沿線用途地域変更業務委託 神立駅周辺準防火決定業務委託 都市計画に関する事務 太陽光発電施設の適正な設置に関する事 務

■事業費

		H27年度	H28年度	H29年度
財源	国庫支出金	0	997	975
	県支出金	0	498	487
	自主財源	5,932	7,255	13,634
	歳入計（千円）	5,932	8,750	15,096
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	04 共済費	260	241	0
	07 賃金	1,610	1,616	0
	13 委託料	3,974	6,793	15,008
	19 負担金、補助及び交付金	88	100	88
歳出計（千円）（A）	5,932	8,750	15,096	
（参考）	当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 72.52 予 55.00	
職員人工数	1.90	1.30	1.90	
職員人件費（B）	14,610	10,229	14,440	
総事業費（A）＋（B）	20,542	18,979	29,536	

■指標		種類	指標名	単位		H27年度	H28年度	H29年度
活動指標	活動指標 1	回	活動指標 1 開発許可等連絡調整会議地域別分科会への出席	目標	0.00	12.00	12.00	
				実績	0.00	12.00	0.00	
	活動指標 2	回	活動指標 2 国、県等の開発に係る研修会への参加	目標	0.00	3.00	3.00	
				実績	0.00	4.00	0.00	
成果指標	成果指標 1	回	成果指標 1 近隣事務処理市との情報交換	目標	0.00	12.00	12.00	
				実績	0.00	12.00	0.00	
	成果指標 2	回	成果指標 2 課内勉強会の開催	目標	0.00	48.00	48.00	
				実績	0.00	52.00	0.00	

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 総合計画及び都市計画マスタープランに基づき事業を推進している。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 都市計画の誘導には多くの利害が発生するため、行政が事業を行うべきである。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 各種研修や先進地への視察等を行うことにより職員のスキルを高めることはできる。しかし、現在の人員ではその機会を与えることができない。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 廃止・休止することにより有効な土地利用の誘導が困難になり、市民への影響は多大である。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 都市計画の誘導には事業の継続性が必要であり、事業費の削減はできない。現体制では人員不足により、事務が停滞することが多々あり、削除余地はない。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 関係法令等に基づき事業を遂行しているため公平・公正である。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	当該事業には知識及び経験が重要である。そのため、異動の少ない人事及び人員の確保は必要不可欠である。また、都市計画は近隣市町村との連携も必要であり、定期的な情報交換、視察等を検討したい。
<p>1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 都市整備課長 石塚洋二 <input type="checkbox"/>終了 <input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>統廃合 <input checked="" type="checkbox"/>継続 (見直し) <input checked="" type="checkbox"/>現状維持)</p> <p>改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 開発行為等に係る認可等を中心とした事務処理となるが、事務処理市となつてから時間も浅い中、担当者の自己練磨は高い評価が認められる。今後も慎重且つ公平にその判断運用が図れ、適正な土地利用に寄与するよう努められたい。</p>		
<p>2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 土木部長 渡辺泰二 <input type="checkbox"/>終了 <input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>統廃合 <input checked="" type="checkbox"/>継続 (見直し) <input checked="" type="checkbox"/>現状維持)</p> <p>担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じ場合も記入) 許認可の手法判断により、申請者への影響も懸念されることから常に担当者が同一見解が得られるよう更なる努力を求めます。</p>		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成28年度									
事務事業名	神立駅周辺整備事業（政策）									
事業類型	負担金									
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	都市計画法	
			08	04	01	09	政策経費			
総合計画体系	3. 安全で快適に暮らせるまちづくり						総合計画対象	対象		
	(1) 適正な土地利用の推進						市民協働	行政主体		
	1 土地利用						担当課係等	都市整備課		
① 中心市街地の整備						街路整備担当				
事業期間	期間限定複数年度（平成23年度～平成33年度）									

現状把握の部 (D0)

【目的】 駅前広場整備と県道の拡幅等（新名称：神立駅前西通り線）により、渋滞緩和、歩行者の安全確保、商業環境の向上や利便性を図り、合せて駅舎の橋上化を図ることで都市機能の充実を図る。	【関連事業】 街路整備事業（都市計画道路 神立停車場線）	
【期待される効果】 駅前広場を含む交通節点機能を向上させることにより、交通渋滞緩和及び歩行者空間を確保することによる通勤・通学者の環境機能向上並びに商業環境の発展を図り、土地の有効活用と都市機能の充実を図る。	【対象者】 全市民	
【全体概要】 本事業は、神立駅周辺整備を目的に土浦・かすみがうら土地区画整理一部事務組合を平成22年度に設置した。主な内容は、土地区画整理事業のかすみがうら市分の負担金である。	【特記事項】 全地面積2.2ha（当市0.9ha 土浦市1.3ha） 事業認可期間（平成23年度～平成33年度） 事業認可変更 H29.2（認可期間の変更）	
【平成27年度 事業内容】 移転補償、西口仮設駅前広場整備工事、移転補償再算定業務、西口仮設駅前広場詳細設計、西通り線及び西口駅前広場詳細設計、神立駅橋上化及び自由通路新設に伴う実施設計、東口歩行者専用道路新設に伴う詳細設計、第1回仮換地指定変更及び第2回仮換地指定	【平成28年度 事業内容】 移転補償、区画道路・宅地造成実施設計 駅舎橋上化整備、自由通路整備	【平成29年度 事業内容】 移転補償、造成工事、埋設物移転 仮駅舎建築、橋上化駅基礎工事、営業補償、自由通路整備、歩行者専用道路造成等整備工事

■事業費

		H27年度	H28年度	H29年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	253,789	324,708	422,991
歳入計（千円）		253,789	324,708	422,991
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	19 負担金、補助及び交付金	253,789	324,708	422,991
歳出計（千円）（A）		253,789	324,708	422,991
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 30.26 予 30.26
職員人工数		0.50	0.70	0.25
職員人件費（B）		3,845	5,508	1,900
総事業費（A）＋（B）		257,634	330,216	424,891

■指標		種類	指標名	単位		H27年度	H28年度	H29年度
活動指標	活動指標 1	活動指標 1	関係機関との協議回数	回	目標	20.00	20.00	20.00
					実績	20.00	23.00	0.00
					目標	0.00	0.00	0.00
					実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	成果指標 1	成果指標 1	計画の進捗状況（年度毎） ※負担金に対する執行率（事業費／負担金）	%	目標	100.00	100.00	100.00
					実績	76.40	80.50	0.00
					目標	0.00	0.00	0.00
					実績	0.00	0.00	0.00

評価の部（SEE）

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市総合計画及び都市計画マスタープランに基づき事業を推進している。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 当市の玄関口として重要な神立駅周辺の活性化や都市機能充実を図っている。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 神立駅の将来像に対し、利用者の立場になり多方面から検討し、より使いやすい駅になるよう、関係機関と連携し事業推進を図る。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 既に建設中の橋上駅舎や区画整理事業の実施を行っている中、廃止等をした場合、事業目的である渋滞緩和や歩行者の安全確保などの都市機能の充実が図れない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 神立駅周辺という立地や公共施行による土地区画整理事業、また、土浦市と当市で一部事務組合を設立し事業を推進しているため。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。（仕様や工法の適正化、市民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 神立駅周辺の都市機能充実を図るために必要な事業で、削減の余地はない。また、当市から派遣している人員も既に減らしており、これ以上の削減余地はない。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 神立駅舎を含め周辺の渋滞緩和や歩行者の安全確保等の整備を行っている。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	引き続き土浦市や関係機関と連絡調整を図り、より良い神立駅周辺の整備を図る。
<p>1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：都市整備課長 石塚洋二 <input type="checkbox"/>終了 <input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>統廃合 <input checked="" type="checkbox"/>継続（<input type="checkbox"/>見直し <input checked="" type="checkbox"/>現状維持）</p> <p>改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 大規模事業であり相手もいることから、当初予算に変更、繰越、剰余金が伴うのは理解するが、進捗の底上げを図るためにも定期的な検証を行い、常に最新の個々の事業の進捗状況を把握されたい。</p>		
<p>2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：土木部長 渡辺泰二 <input type="checkbox"/>終了 <input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>統廃合 <input checked="" type="checkbox"/>継続（<input type="checkbox"/>見直し <input checked="" type="checkbox"/>現状維持）</p> <p>担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 費用対効果を鑑み、市民生活への影響範囲の縮小を常に念頭において事業の早期進捗を図られたい。また、最終完了年度を意識する時期に来ている事も認識し事業を遂行されたい。</p>		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成28年度								
事務事業名	街路整備事業（政策）						事業類型	施設等整備	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	都市計画法
			08	04	03	03			
総合計画体系	3. 安全で快適に暮らせるまちづくり						総合計画対象	対象	
	(1) 適正な土地利用の推進						市民協働	行政主体	
	1 土地利用						担当課係等	都市整備課	
①中心市街地の整備						街路整備担当			
事業期間	期間限定複数年度（平成25年度～平成31年度）								

現状把握の部 (D0)

【目的】 神立駅前広場からの調和のとれた魅力的な都市環境を造り、円滑な交通導線の確保と快適な生活環境形成を図り、且つ、防災の面からも支援する。	【関連事業】 神立駅西口土地区画整理事業	
【期待される効果】 本路線は、神立市街地の主要幹線道路に位置付けられており、本路線を整備することで、県道戸崎上稲吉線などの神立駅に至る交通渋滞の緩和、本路線沿道の商業的土地利用を促し、市街地の活性化を図る。また、神立駅西口土地区画整理事業と一体的な整備を行うことで、都市機能の向上を図り、賑わいのあるまちづくりの形成に寄与できる。	【対象者】 全市民	
【全体概要】 本事業は、神立駅西口土地区画整理事業に伴い、周辺の広域的な道路体系の確立を図るため、平成25年度から事業認可を受け事業を開始している。主な内容は、用地の不動産鑑定や物件補償調査を行い、道路用地の買収及び道路工事を行うものである。	【特記事項】 都市計画決定 昭和38年3月30日 事業認可決定 平成25年7月29日 事業認可期間 平成25年7月29日～30年3月31日 ※H29年度は用地交渉が1件しかないため、活動指標を「付帯設備協議回数」に変更しているため目標を0とする。また、成果指標は「工事進捗率」に変更しているため目標を0とする。	
【平成27年度 事業内容】 平成27年度は昨年度に引き続き事業用地取得を実施。事業計画上は、平成27年度は一部道路改良工事を予定していたが、前年度の国補の採択率が低く、予定地の取得ができなかったため平成27年度も引き続き事業用地取得を行った。	【平成28年度 事業内容】 都市計画道路（神立停車場線）の用地取得、一部道路改良工事を実施する。	【平成29年度 事業内容】 都市計画道路（神立停車場線）の道路改良工事を実施する。

■事業費

		H27年度	H28年度	H29年度	
財源	国庫支出金	237,798	277,328	79,750	
	県支出金	0	0	0	
	自主財源	213,036	30,253	115,909	
歳入計（千円）		450,834	307,581	195,659	
歳出	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）	
	09 旅費	0	4	2	
	12 役務費	93	0	0	
	13 委託料	9,404	7,692	5,471	
	15 工事請負費	0	89,880	181,000	
	16 原材料費	300	291	345	
	17 公有財産購入費	187,886	107,507	2,291	
	22 補償、補填及び賠償金	253,151	102,207	6,550	
	歳出計（千円）（A）		450,834	307,581	195,659
	（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決
職員人件費（B）		10,765	11,016	-36.3	
総事業費（A）＋（B）		461,599	318,597	-61.9	

■指標		種類	指標名	単位		H27年度	H28年度	H29年度
活動指標	活動指標 1	活動指標	活動指標 1	回/年	目標	24.00	22.00	0.00
			用地交渉		実績	26.00	40.00	0.00
					目標	0.00	0.00	0.00
					実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	成果指標 1	成果指標	成果指標 1	m ²	目標	8,080.00	19.00	0.00
			用地買収面積		実績	6,395.47	4,473.00	0.00
					目標	0.00	0.00	0.00
					実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 総合計画 第3編前期基本計画-第3章施策の展開-基本目標3 《都市基盤》 マスタープラン 4章都市整備構想-1) 土地利用の方針
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 公共・公益施設整備の街路整備事業のため妥当である。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 街路整備事業に併せて、周辺の用途変更や道路整備事業により、渋滞解消や活性化が図られる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 街路整備事業として着手しているため、事業の廃止・休止は大きな影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 街路整備事業として認可を取得しているため、類似事業との統廃合はできない。また、土浦市及び神立一部事務組合とは同事業として連携を図っている。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 事業費については、工法の検討などにより削減余地はあるが、国補事業であるため、工法の選定にも限度がある。人件費については、工事管理等の理由により削減余地はない。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 公共・公益施設整備の街路整備事業ため公平・公正である。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	街路整備事業としては、平成30年度末に完成予定のため、今後は街路を中心とした街の活性化の政策が必要である。
<p>1次評価 (1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 都市整備課長 石塚洋二 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)</p> <p>改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) 工事に着手し、計画的効率的に費用効果、地域広報等多方面に配慮した対応が図られている。今後も最終完了目途平成30年度に向け同様に対応し進められたい。</p>		
<p>2次評価 (2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性(改革・改善策)) 記入者: 土木部長 渡辺泰二 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持)</p> <p>担当部長としての意見・考え方 (1次評価者と同じ場合も記入) これまで同様に、神立一部事務組合・土浦市との情報を共有して、事業全体の把握と連帯を図り進められたい。</p>		